



7/28
平和のつどい
(議長・副議長出席)



8/1
ふれあい本陣
街道交流館竣工式
(全議員出席)



8/6
ダム発電関係市町滋賀県
連絡協議会総会
(議長出席)



9/2
愛知・犬上郡人権教育研究大会
(議長出席)



9/21
東近江地区
秋の交通安全出動式
(議長出席)



9/23
各小学校運動会
(全議員出席)

議会活動 日誌

議提第10号 2025年国際博覧会の誘致 に関する決議

可決

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて圏域の存在感を示す絶好の機会となり、極めて大きな意義がある。

また、このような国際博覧会の開催は、滋賀県における産業振興や観光文化交流等を促進するとともに、県内各地域の振興や住民の生活向上にも寄与することが期待できる。

よって、愛荘町議会は、大阪・関西における国際博覧会の開催の意義に賛同するものであり、誘致・実現に向け、大阪府・大阪市や経済界とともに、積極的に取り組むこととする。

以上、決議する。

平成30年 9月21日

滋賀県 愛荘町議会

町内巡回バス提案の 検討結果は

Q 空き時間帯(幼稚園バスなど)を利用した運用の検討結果は

A 「愛のリタクシー」制度運用の拡充協議推進と先進事例等を研究



外川 善正 議員

町内巡回バスの 検討結果は

問 先の平成30年6月定例会の一般質問を行った中の1つについて、その後の進捗を尋ねる。

愛荘町東部エリア(旧秦荘地域)の将来展望と現状の課題について、住み慣れた日常生活圏の中で、少しでも長く自立できる生活環境を維持するため、日常生活に直結した身近なものにも課題が山積しており、特に高齢者にとって生活用品の購入、病院などへの移動に伴う交通機関の必要性が求められるとの質問に対して「愛のリタクシー」の促進と併せて提案した他の車両の空き時間帯を活用した効率的な運用などを検討するとの答弁があったが、その後のどのように検討されたのか尋ねる。

答 (総合政策部長) 住み慣れた日常生活圏の中で、少しでも長く自立できる生活環境を維持するためには、外出や人と人との交流、そして買い物が自分でできることが、生活の質(クオリティ

オブライフ)を高めていくことにつながるため、高齢者等の移動手段を確保していくことがまちの大事な課題であることは、先の議会で町長からも答弁として申し上げさせていただいている。

高齢者の移動手段を確保するため、他の車両の空き時間帯を活用した効率的な運用については、例えばスクールバス等が利用されない時間帯を利用し、運用していくことは可能であるが、車両が大型にな



幼稚園バス

ることや、ドアにドアでなく新たに停留所を設ける必要があること、そしてきめ細やかなニーズに応じた走行ができず、事業の採算性からも効率的な運用につながるものと考えている。

そのため、既存の「愛のリタクシー」を身近で有効な公共交通手段として活用いただけるよう、制度運用の拡充に向け、圏域市町で構成する交通会議で協議していく。また、他者と共有するシェアリングエコノミーがさまざまな分野に広がりを見せる中、地域が地域の支え合いの中で、独自に運用する移動サービス事業について、先進事例等を研究するなど、高齢者等の移動手段の確保に努めていきたいと考えている。

(用語説明)

シェアリングエコノミーとは物・サービス・場所などを多くの人と共有・交換して利用する社会的な仕組み。